

「3つのポリシー」に関するアセスメントポリシー（2026年版）

教学マネジメント委員会

1. 目的

- ・本ポリシーは、中期計画 No. 43 及び No. 44 に基づいて、本学の「3つのポリシー」を実質化するための方策を定めるものである。
- ・その方策は、①「3つのポリシー」を検証する視点
 - ②検証の根拠となる各種データを組織的に収集・蓄積・分析する具体的手順
 - ③検証に基づいて重点取り組み課題を抽出し、次年度の教育改善に生かすことによって PDCA サイクルを回すための年間スケジュールで構成する。

2. DP・CP の検証

(1) DP・CP を検証する視点

- ①DP・CP は、教育理念、教育目的、教育目標を踏まえて策定・公表・周知しているか？
- ②DP・CP に基づく教学の管理・運営体制は適切か？
- ③DP・CP に基づいた教育を実施しているか？
- ④主観的及び客観的学修成果の到達度を適切に評価できているか？
- ⑤在学生の満足度を適切に評価できているか？

(2) DP・CP 検証のためのチェックリスト

検証の視点	チェックリスト	収集する根拠資料
①DP、CP の策定・公表・周知	☐ DP・CP を策定している。 ☐ DP は、各学部・学科の教育目的・教育目標を具体的能力として適切に表現している。 ☐ CP は、DP と整合性がとれている。 ☐ DP・CP を公表している。 ☐ DP・CP を在学生に周知している。	DP、CP 教育目的、教育目標 ナンバリング ウェブサイト、大学案内パンフ、キャンパスガイド等 学生調査（3つのポリシーの認知度に関する質問）
②管理・運営体制	☐ 教学マネジメント委員会を年2回以上開催している。 ☐ 履修単位上限を設定している。（キャップ制） ☐ GPA を履修指導に活用している。	教学マネジメント委員会議事録 キャンパスガイド、各種関連規程 履修指導の実績
③教育の実施	☐ 全開講科目のシラバスを作成し、公表している。	シラバス

	☐ シラバスの内容をチェックし、改善のための指導を行っている。 ☐ 教員は、シラバスに基づいて授業を実施している。 ☐ 教員は、適切な授業改善の手立てを実施している。	シラバスチェックの実績 授業評価（シラバス、授業運営、教員に関する質問）
④主観的学修成果 （到達度、満足度）	☐ 学生は、主体的に学修している。 ☐ 学生は、十分な学修時間を確保している。 ☐ 学生は、自己の成長を実感している。 ☐ 学生は、自己の学修成果に満足している。	学生調査（主体的学修行動に関する質問） 学生調査（学修時間に関する質問） 学生調査（主観的学修成果に関する質問） 学生調査（満足度に関する質問）
④客観的学修成果 到達度	☐ 学生は、DP で想定している能力を身に付けている。	各学部・学科が行う DP 達成度評価 就職課が行う卒業生調査、就職先調査
⑤満足度の評価	☐ 在学生の満足度を適切に評価できている。	学生調査、授業評価のアンケート

4. AP の検証

(1) AP を検証する視点

①AP は、教育目標、DP、CP に基づき、受け入れる学生に求める学修成果（学力の 3 要素）を明示しているか？
②選抜方法は、高等学校の学修成果（学力の 3 要素）を適切に評価しているか？
③すべての入学予定者に、入学前教育を実施しているか？

(2) AP 検証のためのチェックリスト

検証の視点	チェックリスト	根拠データ
①AP の策定・公表	☐ AP は、DP に記載している能力を身に付ける前提として求める <u>学修成果を明示</u> している。 ☐ AP を、 <u>公表</u> している。	AP、DP、CP ウェブサイト、大学案内パンフ、キャンパスガイド等 学生調査（3 つのポリシーの認知度に関する質問）
②選抜方法	☐ 多様な背景を持つ学生の受け入れる入試区分を設けている。 ☐ 各入試区分の選抜方法は、「 <u>学力の 3 要素</u> 」を多面的に評価する選考方法を採用している。	入学者募集要項
②適切な評価	☐ 採点基準（ループリックなど）を作成している。 ☐ 採点基準は、各選考方法に対応する学力の到達度（学修成果）を評価するものになっている。	入試問題 採点基準
③入学前教育	☐ すべての入学予定者に、入学前教育を実施している。	入学前教育教材

以上